

令和2年度牧之原市当初予算の概要について

1 当初予算の総額

(単位：千円、%)

| 会 計 名 | 令 和 2 年 度 予 算 額 | 令 和 元 年 度 予 算 額 | 前年度比較 | | | |
|---------------------|--------------------|--------------------|-----------|-----------|---------|-------|
| | | | 増減額 | 伸率 | | |
| 一 般 会 計 | 21,370,000 | 20,330,000 | 1,040,000 | 5.1 | | |
| 特 別 会 計 | 9,935,883 | 10,103,144 | △167,261 | △1.7 | | |
| 国民健康保険 特 別 会 計 | 5,025,771 | 5,174,966 | △149,195 | △2.9 | | |
| 後期高齢者医療 特 別 会 計 | 527,242 | 495,703 | 31,539 | 6.4 | | |
| 介護保険特別会計 | 4,368,346 | 4,418,377 | △50,031 | △1.1 | | |
| 土地取得特別会計 | 148 | 392 | △244 | △62.2 | | |
| 農業集落排水事業 特 別 会 計 | 14,376 | 13,706 | 670 | 4.9 | | |
| 小 計 | 31,305,883 | 30,433,144 | 872,739 | 2.9 | | |
| 水道事業 会 計 | 収 益 的 | 収 入 | 1,049,359 | 1,042,535 | 6,824 | 0.7 |
| | | 支 出 | 1,006,840 | 983,678 | 23,162 | 2.4 |
| | 資 本 的 | 収 入 | 139,377 | 155,950 | △16,573 | △10.6 |
| | | 支 出 | 420,656 | 444,378 | △23,722 | △5.3 |
| 合 計 | 32,733,379 | 31,861,200 | 872,179 | 2.7 | | |

2 当初予算の概要

(1) 総括

【一般会計】

- ・今年度の予算は、前年度比10億4,000万円、率にして5.1%の増の213億7,000万円で、合併以降最大規模の積極型予算となった。
- ・第2次総合計画後期基本計画の2年目となり、前年度に引き続き、戦略プロジェクトに基づく効果的な官民連携により、交流定住人口の増加、住みやすい地域づくり、財政運営の健全化などを実現し、持続可能なまちづくりに取り組む。
- ・具体的には、市全体に効果が及ぶ新たな拠点、賑わいの場の創出に向けた高台開発事業（東名高速道路相良牧之原IC北側開発事業における土地区画整理準備組合への補助金）、アジア初のウェーブプール建設に対するふるさと融資貸付事業やサーフィン競技を核としたホストタウン推進事業などの沿岸部活性化事業、新婚世帯や子育て世帯に移住・定住を促す施策の継続など賑わいを創出する事業に予算付けをした。
- ・また、工場拡張や進出企業に対する企業誘致推進事業、まきのほら産業・地域活性化センターの強化支援、令和2年6月25日開催市となる東京2020オリンピック聖火リレー事業

にも予算配分をした。

- ・さらに、小学校校舎改修や放課後児童クラブの増設、切れ目のない子育て支援、妊産婦移動支援、こども医療費助成などの支援も引き続き予算化した。
- ・公共施設マネジメント基本計画に基づく市営住宅（波津団地1号室、波津西住宅の一部（設計）、浜田公園トイレ、消防団坂部詰所（設計）の解体費を計上した。
- ・安全・安心のまちづくりとしては、相良地区放射線防護施設整備（造成工事）のほか、L2防潮堤基本設計業務、防災・減災、国土強靱化による細江地区浸水対策、最終年度となる防災行政無線（同報系）デジタル化整備、地頭方漁港海岸防潮堤整備、地頭方消防館（消防団詰所）建設、耐震防火水槽設置、寄子防災広場整備などに予算措置をした。
- ・道路橋りょうの整備についても、道路ストック補修支援事業や道路メンテナンス事業、空港隣接事業にも継続予算を確保した。
- ・そのほか、集出荷貯蔵施設や荒茶加工施設の整備に対する産地パワーアップ事業補助金、森林環境譲与税を財源とした勝間田城跡周辺森林整備事業、デジタル化による業務効率化、情報発信強化への取組などについても予算措置をした。
- ・財政調整基金繰入金12億円、減債基金繰入金3億円を計上し財源調整を行った。

【特別会計】

- ・国民健康保険特別会計は、事業納付金の減額と医療費予測に基づく予算額である。
- ・後期高齢者医療特別会計は、保険料の賦課見込等に基づく予算である。
- ・介護保険特別会計は、保険給付費及び地域支援事業費の見込等に基づく予算である。
- ・土地取得特別会計は、用地取得の予定がないため、基金管理等の予算である。
- ・農業集落排水事業特別会計は、笠名地区の農業集落排水施設最適整備構想の策定により増額になっている。

【公営企業会計】

- ・水道事業会計は、安全で良質な水の安定供給を目指し、老朽化した水道管の更新を図る予算である。

（2）歳入（一般会計）

- ・市税は、前年度を大幅に下回る7,523,768千円（前年度比7.7%減）を見込んだ。雇用・所得環境の改善により個人市民税は若干の増額、一方、法人市民税は市内大手企業の業績が停滞から後退局面に転じつつあることに加え、税率改正（9.7%→6.0%）で5億円以上の大幅な減額を見込み、市民税全体では前年度比15.7%の減少とした。固定資産税については、家屋は新增築分により増額となるが、償却資産は大手企業の設備投資の状況から前年度比6.4%の減少とし、固定資産税全体では、53,763千円（前年度比1.3%減）の減収を見込んだ。
- ・法人事業税交付金は法人市民税の税制改正による減収分の補填措置として創設され、180,000千円を計上した。地方消費税交付金は消費税率引上げの影響が平年化することから204,000千円の増額とし、地方特例交付金は、幼児教育無償化に係る地方負担分の措置が地方交付税に振り替わることから124,000千円の減額とした。
- ・国庫支出金は、道路ストック補修支援事業などの社会資本整備総合交付金の減少により168,541千円（前年度比7.8%減）の減額となった。
- ・県支出金は、産地パワーアップ事業や地域産業立地事業などの新規事業により589,336千円（前年度比32.5%増）の大幅な伸びになった。
- ・市債については、ウェーブプール建設への地域総合整備資金貸付事業や放射線防護施設整備事業などにより528,600千円（前年度比22.3%増）の増額となり、4年連続で20億円を超え、前年度に引き続き元金償還額を上回り、2,895,400千円の計上となった。

(3) 歳出（一般会計）

令和2年度に実施する事業を総合計画における6つの政策により整理した主要な事業は、以下のとおりである。（別冊、予算参考資料の「令和2年度 主要事業等」参照）

◎印は、第2次総合計画における戦略プロジェクトを示す。

1 【健康福祉】

| | |
|---|-----------|
| <p>成年後見センター（中核機関）の設置〈新規〉</p> <p>認知症や障害などによって、判断能力が十分でない高齢者や障がい者の権利を守るため、成年後見制度の利用を支援する体制を構築するとともに市民後見人の育成等を行う。</p> | 568万円 |
| <p>高齢者運転免許証自主返納支援事業〈新規〉</p> <p>運転免許証の自主返納を促進し、高齢者の運転による交通事故の減少を図る。</p> | 150万円 |
| <p>こども医療費助成事業</p> <p>高校生以下の子どもに係る医療費の自己負担分を全額助成することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な育成を図る。</p> | 1億9,974万円 |
| <p>◎社会福祉事業団設立事業〈新規〉</p> <p>公立保育所等の運営を民間に移管していくに当たり、公設公営の保育園に関しては、市が社会福祉事業団を設立し移管することで、保育環境の変化による子どもや保護者の負担の軽減を図るとともに公益性も併せて確保する。</p> | 275万円 |
| <p>副食費減免事業〈新規〉</p> <p>国の保育料無償化に伴い3歳以上児の副食費が実費徴収となるため、多子世帯の副食費を減免し、子どもを産み育てる環境の整備と子育て世帯の負担軽減を図る。</p> | 670万円 |
| <p>地域医療振興事業</p> <p>牧之原市内に診療所等を開設する医師に対し、開設にかかる費用の一部を助成することで、医療サービスの充実を図る。</p> | 5,000万円 |
| <p>妊産婦通院等支援事業</p> <p>榛原総合病院の産科休診に伴う対応として、妊産婦の通院等に要する費用の一部を助成する。</p> | 690万円 |
| <p>婦人科検診クーポン券事業〈新規〉</p> <p>検診の対象年齢に達する者（子宮頸がん検診：20歳、乳がん検診：40歳）に、自己負担金が無料となるクーポン券を送付し、受診率向上を図る。</p> | 92万円 |

2 【教育文化】

| | |
|---|----------------|
| <p>◎学校再編事業</p> <p>望ましい教育環境のあり方に関する方針に基づき、学校再編計画を策定するとともに、キャリア教育を軸とした「小中一貫教育」や「コミュニティ・スクール」の導入を行う。</p> | <p>551万円</p> |
| <p>英語力向上サポート事業</p> <p>外国人英語指導助手を配置し、語学力の向上により、国際理解教育の推進を図る。併せてイングリッシュキャンプを実施し、英語に親しみながら外国人とのコミュニケーションの向上を図る。</p> | <p>2,288万円</p> |
| <p>◎ICT活用推進事業</p> <p>ICT機器を活用し、情報活用能力の育成を図る。また、地元講師によりプログラミング教育を推進する。</p> <p>[令和元年度2月補正予算：通信ネットワーク等整備 2億50万円] [令和2年度補正予算：小5・6、中1端末整備を予定]</p> | <p>227万円</p> |
| <p>◎学校施設改修事業</p> <p>学校の教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎の屋上防水、外壁クラック補修等を実施する。</p> <p>[細江小学校工事]</p> | <p>8,310万円</p> |
| <p>◎相良図書館整備事業〈新規〉</p> <p>図書館基本計画に基づき、市民生活を支える知や文化の拠点及び資料や情報を通じて市民が会う場の実現を目指し整備する。</p> <p>[令和元年度2月補正予算：図書館整備工事 1億7,600万円]</p> | <p>2,855万円</p> |
| <p>勝間田城跡周辺森林整備事業〈新規〉</p> <p>森林環境譲与税を活用し、勝間田城跡周辺の森林環境を適切に管理することにより、史跡の見学者の安全を確保する。</p> | <p>600万円</p> |

3 【産業経済】

| | |
|--|------------------|
| <p>◎まきのはら産業・地域活性化センター事業</p> <p>観光業をはじめ、多業種との連携による地域資源の観光商品化やイベントの開催等による誘客を図るとともに、地域産業の活性化のための支援を行う。</p> | <p>4,157万円</p> |
| <p>◎ふるさと融資事業（ウェーブプール）〈新規〉</p> <p>商店街、沿岸部、里山のエリア再生など、地域振興に資する民間事業活動（設備投資）を支援するため、長期の無利子資金を融資する。</p> | <p>5億2,500万円</p> |
| <p>茶業振興事業（産地パワーアップ）</p> <p>茶業振興、茶業経営の効率化を図るため、国の補助制度により集出荷貯蔵施設、製茶製造施設の整備を支援する。</p> | <p>6億7,859万円</p> |

| | |
|---|------------------|
| <p>献上茶謹製事業</p> <p>高品質な茶の産地をPRするとともに、生産者の自覚を促すため、皇室に静岡牧之原茶を献上する事業をJA、手揉茶保存会と連携し実施する。</p> | <p>220万円</p> |
| <p>茶複合経営推進事業</p> <p>茶業経営の安定を図るため、「茶+α」の複合経営の推進に向けた取組を行う。茶園から補完作物に転作するための経費を補助し、農業者を支援する。</p> | <p>100万円</p> |
| <p>農村地域再生プロジェクト構想策定事業〈新規〉</p> <p>土地改良事業施工候補地における事業構想等を作成し、地権者など地元の事業推進意欲の醸成を図る。</p> | <p>100万円</p> |
| <p>◎がんばる中小企業応援事業 (牧之原市ビジネスサポートデスク)</p> <p>中小企業者、小規模企業者からの経営改善、事業承継、創業支援などの様々な相談を一括して受け付ける総合窓口を設置し、課題の解決に向けて支援する。</p> | <p>190万円</p> |
| <p>◎萩間地区工業用地開発可能性詳細調査事業〈新規〉</p> <p>萩間地区における工業用地拡張事業計画の実現について、開発に必要な諸条件や課題の解決を図るとともに、基本計画・基本設計等を作成する。</p> | <p>6,200万円</p> |
| <p>◎企業立地促進事業〈新規〉</p> <p>東萩間地区に新規立地する企業に対して、土地取得及び雇用に係る初期投資に対して補助金を交付する。</p> | <p>1億8,060万円</p> |
| <p>御前崎港客船誘致事業</p> <p>御前崎港を活用した観光の振興と港湾の活性化を目的とし御前崎市と連携したクルーズ客船や海王丸・日本丸といった集客につながる帆船を誘致し、地域への経済波及効果の拡大を図る。</p> | <p>600万円</p> |
| <p>◎新拠点開発推進事業</p> <p>東名高速道路相良牧之原インターチェンジ北側地区の開発を推進するため、土地区画整理事業の実施に向けた調査、牧之原市IC北側土地区画整理準備組合に対する助成等を行う。</p> | <p>2億1,331万円</p> |

4 【生活基盤】

| | |
|---|-----------|
| <p>◎道路ストック補修支援事業</p> <p>道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の舗装や法面などの痛みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。</p> | 3億5,101万円 |
| <p>◎道路メンテナンス事業〈新規〉</p> <p>道路の点検結果を踏まえ策定する長寿命化計画に基づき行う事業で、劣化、損傷が著しく進行している橋梁、トンネルの構造物を計画的かつ予防的に補修を行い、道路交通の安全性を確保する。</p> | 1億550万円 |
| <p>空港隣接事業</p> <p>市道八ツ枝毛ヶ谷線改良事業、市道坂部細江線改良事業 市道並木外之久保線改良事業、準用河川辻川改修事業</p> | 3億360万円 |
| <p>細江地区浸水対策事業（準用河川沢垂川改修事業）</p> <p>市内の浸水被害低減のため、事業効果の検証を行い実効性のある対策を含めた総合的な治水対策を実施する。</p> | 1億5,150万円 |
| <p>ふるさと体験の森公園多目的広場・駐車場整備事業</p> <p>多目的広場や駐車場を拡張し、機能の充実を図り多くの人を楽しめる公園とする。</p> | 5,000万円 |
| <p>◎公営住宅等ストック総合改善事業</p> <p>公営住宅等長寿命化計画に基づき市営住宅のストック総合改善事業を実施する。</p> | 4,330万円 |

5 【防災】

| | |
|---|-----------|
| <p>農村地域防災減災事業</p> <p>83のため池のうち防災重点ため池の指定を受けた63池について、県と協力しながら大規模地震に備えた耐震化整備を進める。</p> | 7,605万円 |
| <p>地頭方漁港海岸防潮堤整備事業</p> <p>レベル1津波対策事業として、市が管理している地頭方漁港海岸の防潮堤の整備を実施する。</p> | 1億5,400万円 |
| <p>L2防潮堤整備に伴う協議資料作成業務委託</p> <p>津波被害から市民の生命財産を守るため、国県が整備するL1防潮堤の背後にL2津波に対応できる防潮堤を整備するための協議資料の作成を行う。</p> | 243万円 |

| | |
|---|-----------|
| 静岡地域消防救急広域化事業 島田市、吉田町、川根本町とともに静岡市に消防救急業務を委託し、消防力の強化を図る。 | 8億4,459万円 |
| ◎地頭方消防館建設事業 消防団組織再編計画により10分団（地頭方地区）の5か所の詰所を2か所に統廃合する。 | 1億2,518万円 |
| 耐震性防火水槽設置事業 消防水利の充実のため、耐震性防火水槽の整備を行う。 | |
| 寄子防災広場整備事業〈新規〉 災害復旧が迅速にできるように災害時に多目的な使用ができる防災広場を整備する。 | 1,431万円 |
| 防災行政無線（同報系）デジタル化整備事業 総務省の新スプリアス規格に対応するため、防災行政無線（同報系）のデジタル化整備を実施する。（債務負担3年目） | 1億5,941万円 |
| ◎相良地区放射線防護施設整備事業 原子力災害時に長距離避難による健康リスクの高いPAZ圏内の要支援者等の一時避難施設となる相良地区の新たな鉄筋コンクリート造りの放射線防護施設の整備を進めるための造成工事を行う。 | 5億1,906万円 |

6【市政経営】

| | |
|--|-------|
| ◎議会ICT化推進事業〈新規〉 議会運営の効率化や議案審議資料の充実を図るとともに、ペーパーレス化による環境負荷の低減等を推進する。（タブレット端末20台） | 783万円 |
| 文書電子化推進事業〈新規〉 紙文書が主体となっている議案や庁内会議等の資料について、電子化を図り事務の効率化を図るとともに、省資源化を推進する。（タブレット端末25台） | |
| 文書管理保管支援事業 公文書の管理保存のルールの見直しを行うと共に、既存書庫内文書の整理を行うことで、健全な公文書の管理保管体制の構築を図る。（債務負担2年目） | 369万円 |
| 地域振興基金積立事業 合併特例債を財源に16億円の地域振興基金を積み立てる。平成29年度から実施し、4年目となる。 | 2億円 |
| ◎デジタル化推進事業〈新規〉 市におけるデジタル化（業務効率化・情報発信強化）を効果的、効率的に推進するため課題の整理や個別計画の策定、実行を進める。 | 830万円 |

| | |
|---|----------------|
| <p>◎若者に魅力あるサービス等創出支援事業</p> <p>若者の市外流出に歯止めをかけるため、若者が求める住環境、ライフスタイルを提供するための新産業、新サービスの創出に官民連携で取り組むことで、第2次総合計画後期基本計画「戦略プロジェクト」の強力な推進を図る。</p> | <p>500万円</p> |
| <p>◎移住・定住促進補助事業</p> <p>移住・定住を促進するため、市への居住の節目に条件を満たした場合に補助金等を交付する。(子育て家族定住奨励金、空き家リフォーム等補助金、結婚新生活支援助成金、しあわせ新婚さん家賃助成金、移住就業支援補助金)</p> | <p>4,850万円</p> |
| <p>◎ホストタウン推進事業</p> <p>全国初のホストタウン登録を受けたサーフィン競技を核とした交流事業を推進することにより、地域の人的・経済的・文化交流を図ることで、オリンピックをきっかけとした沿岸部の賑わいを創出する。</p> | <p>886万円</p> |
| <p>◎東京2020オリンピック聖火リレー事業〈新規〉</p> <p>聖火リレーは、牧之原市を世界に発信する場であるとともに、市民が地域に対する誇りを醸成する絶好の機会として捉え、万全な準備と円滑な事業運営を図る。</p> | <p>1,054万円</p> |
| <p>アウトソーシング事業(窓口業務・税証明等)</p> <p>市民課及び相良窓口課における住民票の写し・印鑑登録証明・税証明等の窓口交付事務をアウトソーシングし、ワンストップサービスの拡充を図る。</p> | <p>3,168万円</p> |